

乳用子牛の発育向上プロジェクト

～関係機関と共に取り組んだほ育育成センター運営支援～

概要 Abstract

- 2020年10月に、高齢酪農家の営農継続と大規模酪農家の省力化を目指して日高町にはほ育成センターが開業。
- 普及センターは、農研本部技術普及室・地元関係機関と連携し、酪農家とほ育成センターそれぞれに対して支援。
- 子牛の免疫向上、発育向上、預託拡大などの成果を得た。



経過 Process

酪農家に対する活動

- 母牛と子牛の飼養管理に関するアンケート調査を実施

○初乳糖度分析を実施
- 子牛の血液検査・免疫抗体価分析を行い免疫獲得状況を調査

ほ育成センターに対する活動

- 施設の定期巡回調査を行い、環境・管理の確認や従業員への聞き取りを実施。問題点等の整理、改善提案事項のまとめを行い、代表者や従業員と共有
- 定期巡回時の主な問題点と飼養管理変化例

 - ・残飼が多い、飼料の再利用
 - ・牛が配合飼料を食べづらい
 - ・牛床、通路の清掃不十分
 - ・飼槽の前に滞水が見られる
 - ・冬季の牛舎天井結露、牛床滞水

↓

 - ・半日量を給与し、都度追加。再利用しない
 - ・ネックバーの調整を実施
 - ・新スタッフの採用による清掃の改善
 - ・スクレイパー・モップでこまめに排水
 - ・十分な換気により改善

○ほ育・育成牛の発育把握のため、普及センターで「増体分析ソフト」を作成しデータ取得と分析を実施

成果 Results

酪農家に対する活動

- 初乳品質調査結果

初乳品質 適正 70% 不十分 30%

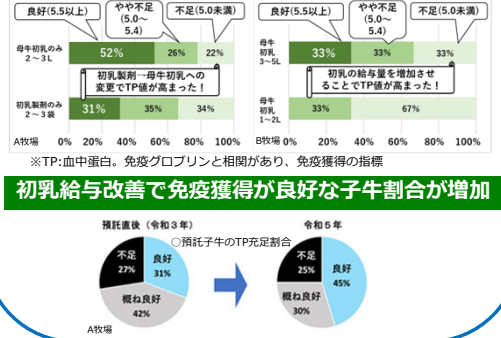
○糖度計による初乳品質の調査で30%の初乳が糖度不足＝免疫抗体不十分（糖度20%以下）と分かった

○アンケート調査、初乳調査、血液調査から、初乳の給与量や給与法の改善が必要と判断
- 免疫獲得状況が分かり、啓発資料を作成できた

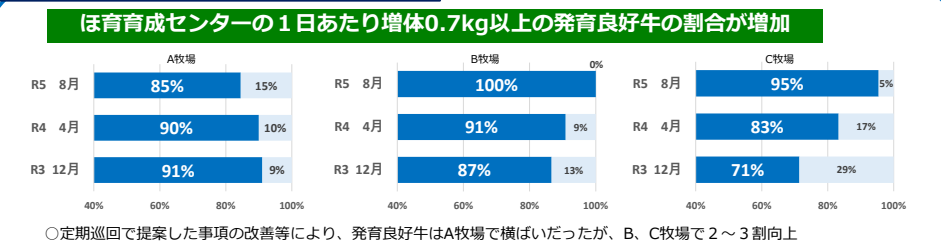
① 出生後6週間以内に、最低3L以上

② 調査結果をもとに初乳給与啓発資料を作成し情報提供を実施

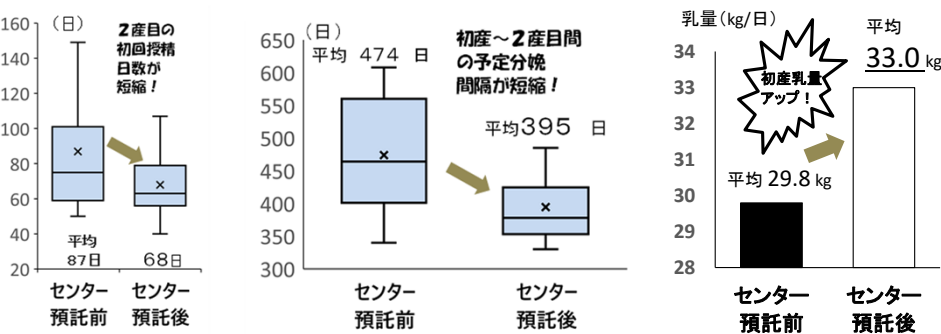
充分な初乳給与により、TP値が高まることを確認



ほ育成センターに対する活動



ほ育成センターへの預託により、初産牛の繁殖成績・乳量が増加



普及 Dissemination

預託志向農家に情報発信

➡ 近隣の大規模酪農家が新たに預託を開始するなど預託拡大につながった

連絡先 Contact

日高振興局 日高農業改良普及センター日高西部支所
01457-2-2055
hidakanisi-nokai.11@pref.hokkaido.lg.jp